

平成30年度
赤穂市立赤穂中学校
「学校だより」

荒神台

NO. 53
平成30年10月29日発行
文責 校長（平井 正彦）

JRCスピリッツ賞

たけ あき
延原 豪 暁 くん（3年1組）
**救命活動により、
人命を救う!!**

10月19日の夕方、消防署からの突然の電話に職員室がざわめきました。生徒が何か事故に遭ったのかと心配しましたが、そうではありませんでした。

内容は、『午後3時半頃、駅北（元町）で、工事中の作業員が足場から落下し、頭部から出血し意識がはっきりせず、呼吸も正常ではなかった。通りかかった男子中学生がかけ寄り、倒れている作業員の状態を見て、心臓マッサージと人工呼吸を始め、それを繰り返した。

やがて、作業員の意識がもどり、呼吸も落ち着いてきた。作業員は、到着した救急車で、別の作業員が付添って病院へ搬送された。救命処置をした中学生の名前がわからないので、調べて欲しい。』ということでした。

だれだろう？ その時刻だと3年生？・・・職員室は、その生徒の行動を称賛する言葉が飛び交いました。

その後、警察からの連絡と本人への確認によって、適切な救命処置により人命を救った中学生は、3年1組の延原君だとわかりました。

心肺蘇生法の訓練は、「ジュニア救急教室」で、毎年2年生全員が行います。指導は、赤穂消防署員と「トライやる・ウィーク」で訓練を受けた生徒が行います。また、2年生のリーダー候補者は、夏休みのJRC（青少年赤十字）研修会〔明石少年自然の家：2泊3日〕でも、救急救命法の訓練を受けています。

いざという時に訓練が役に立ち、本当に良かったと思っています。

しかし、訓練していたとしても、倒れて血を流している生身の人間に、心臓マッサージや人

工呼吸をすることは、彼にとっては、おそらく初めてのことでもあり、そんな簡単なことではなかったと思います。きっと、「何もしなければ命が、・・・」「自分がやらなければ、・・・」という彼の純粋な使命感と助けたいという思いがそうさせたのでしょう。だれでもできることではないと思います。



生徒には、『人の役に立つ』ことをして、人から感謝され、喜んでもらうことが自分の「幸せ」の原点であると話しています。これは、青少年赤十字（JRC）活動の基本理念であり、活動の態度目標『気づき・考え・実行する』を支える基本方針でもあります。

また、いのちを見つめ直し、いのちを大切にする人づくりを進める本校の「いのちの教育」を日常生活で生かしたすばらしい行動でもあります。

おそらく、彼だけでなく、他の生徒の中にも、私たちの気づかないところで、地域に貢献したり、ボランティアに参加したり、お年寄りに道や席を譲ったり、小さい子どもの面倒を見たりするなど、『人の役に立つ』ことをしている人がたくさんいると思います。近所の人にあいさつをすれば、相手も自分も幸せな気分になっていきます。「あいさつ」することも『人の役に立つ』ことにつながっていくのです。

生徒たちは、一人一人いろいろな事情や課題を抱えていますが、いろいろな場面で、生徒たちが頑張っている姿を観るたびに、もっとしっかり観てやって欲しい、もっとほめてやって欲しいと、私はいつも思っています。



オープンスクールや授業・行事参観、親子進路学習会などの期間や時間を拡大し、休憩ができる控室を設置しているのも、生徒の様子をしっかり観て、励ましていただきたいからです。

延原君の勇気と適切な判断、そして、救命行動に『JRCスピリッツ賞』を贈ります。



いのちの教育講演会

■演題『いのちって何?』10/16

■講師 加西市立加西病院

産婦人科医 東田 太郎 先生



■スクリーンに映し出される病院の分娩室。ここは、新しい命の誕生だけではなく、その命と引き替えに母体の命が失われることもある部屋です。母親は、命がけで出産し、誕生を喜び、感謝します。父親は命の誕生を喜び、真っ先にわが子を抱き、話しかけます。映像は真実を語り、命を真正面から捉えています。

生徒は、自分がどれだけ愛され、大切にされてきたかを知り、改めて親の愛情の大きさを感じたことでしょう。

「命を大切にする」「命を育てる」とは、どういうことなんでしょうと、多くの生徒が感想文の中で、自分に問いかけていました。

◎「いのちの教育」(3年生)~次の講師は、

「赤ちゃん」先生です。10/25

お兄ちゃんの悩み事

「どっちが可愛いの?」

幼稚園年長組のお兄ちゃんがお母さんに質問しました。

「ねえ、ぼくと弟とどっちが可愛いの?」

実は、年少組の弟はとても積極的で、いつでもお母さんの膝を占領してしまいます。お兄ちゃんは、いつでも我慢して少し離れた所で一人遊びをしていました。弟が膝から離れると、お兄ちゃんはすぐに聞きに来るのです。

聞かれるたびに、お母さんはそっと抱きしめ、やさしく答えていました。

「どっちも同じくらい可愛いのよ」

しかし、最近では聞きに来る回数も多くなってきました。

そこで、お母さんはいろいろと考えて、同じくらい可愛いのに、「〇〇ちゃん(弟)をだっこしている間、いつもいつも、お兄ちゃんを可愛い可愛いと思っているんですよ」と、言葉を付け加えました。

数日後、お兄ちゃんからの質問がなくなりました。いつものように、弟がお母さんの膝を占領しています。いつものように、お兄ちゃんは、少し離れたところで、一人遊びをしています。

お兄ちゃんが、ちらりとお母さんの方に目をやりました。

これまでと違うのは、お兄ちゃんがお母さんの方を向くたびに、お母さんは、母の思いを笑顔に込めて、やわらかに、やわらかに、お兄ちゃんに発信していることです。



表彰と記録

兵庫県中学校総合文化祭

【書写部門】特選 3年 宮本 佳穂
入選 3年 延近 悠希
入選 1年 西本 桜弥香

赤穂市人権作文・標語・ポスターコンテスト

【人権作文】最優秀 3年 松本 夢朋
佳作 3年 津野くらら
3年 瀧谷 咲月
【ポスター】優良 1年 小野 七海
佳作 1年 廣田 一翔

読売新聞紙上書道展

三席 3年 宮本 佳穂

少年の主張兵庫県大会西播磨ブロック

優秀賞 3年 瀧谷 咲月

剣道

●赤穂市中学校新人大会 9/29

【男子団体】1位

・井上晴矢、高田誠也、山田皓暉、
椎畑元稀、大田博斗、鳴瀧良介

【個人】1年男子 鳴瀧 良介 3位
2年男子 井上 晴矢 1位
高田 誠也 2位
2年女子 片岡 三咲 1位

●西播地区中学校新人大会 10/20

【男子団体】3位<県大会出場>

・井上晴矢、高田誠也、山田皓暉、
大田博斗、鳴瀧良介

【個人】<県大会出場>
2年男子 井上 晴矢 5位
高田 誠也 5位
2年女子 片岡 三咲 1位

柔道 赤穂市中学校新人大会 10/1

【個人】男子60kg級 川島 朋也 1位
女子52kg級 竹内 絢音 3位
女子52kg超級 山脇 千和 3位

11月12月の主な行事

- 10/25(木) 赤ちゃんプロジェクト(3年)
- 10/26(金) 3年習熟度テスト
- 10/28(日) 赤穂・城西ふれあいまつり
西播総体(駅伝)
- 11/ 1(木) 市学童展~11/6
- 11/ 5(月) オープンスクール~11/9(金)
- 11/ 7(水) 合唱コンクール、関福大学生授業参観
- 11/ 9(金) 文化祭【弁当】
- 11/11(日) 赤穂シティマラソン
- 11/12(月) 教育相談~11/22
- 11/15(木) 3年生進路説明会
- 11/17(土) PTCA実践発表会
- 11/19(月) ジュニア救急教室 ※11/21
- 11/21(水) 部活動中止~11/27
- 11/26(月) 期末テスト~11/28(水)
- 11/28(水) 歯磨きスキルアップ教室
- 12/ 5(水) 義士教育
- 12/13(木) 個別面談~12/19(水)
- 12/14(金) 赤穂義士祭〔臨時休業日〕
- 12/19(水) 福祉部ボランティア活動
- 12/21(金) 2学期終業式(1/8始業式)

